

科目区分	専門分野Ⅱ			科目番号	0803	曜日時間	不定期
授業科目	成人看護学援助論Ⅱ						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	1 年次後期	授業形態	講義・演習
担当教員							
授業目的	消化吸収機能障害及び栄養代謝機能障害が成人期の対象にあたる影響を理解し、消化吸収機能及び栄養代謝機能障害をもつ成人の看護を学ぶ。						
中核	栄養素のやり取りと生命維持						
授業目標	【消化吸収機能障害、栄養代謝機能障害】 1. 消化吸収機能及び栄養代謝機能の障害が理解できる。 2. 消化吸収機能及び栄養代謝機能の障害が人間の生命・生活に与える影響が理解できる 3. 消化吸収機能及び栄養代謝機能が障害された対象のアセスメントが理解できる。 4. 消化吸収機能及び栄養代謝機能の障害をもつ成人の看護アプローチの方法が理解できる。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	8	1. 消化吸収機能の障害 1) 消化・吸収機能と役割 ①消化・吸収機能とは何か (摂取機能、嚥下機能、移送機能、消化・吸収機能、糞便形成・排出機能) ②消化・吸収機能と生命・生活 2) 消化・吸収機能の障害 2. 消化吸収機能の障害が生活に及ぼす影響 (消化吸収機能障害をもたらす生命・生活への影響) 3. 症状アセスメントと看護 (食欲不振、悪心、嘔吐、イレウス、便秘、下痢、下血、腹痛腹部膨満) 4. 検査時のアセスメントと看護 (上部消化管内視鏡検査、大腸内視鏡検査、消化管造影、消化・吸収機能検査) 5. 治療時のアセスメントと看護 (化学療法、麻薬等) 緩和ケア・麻薬の使用法 (デモ) 人工肛門造設術法、中心静脈栄養法 ストーマ管理 (デモ) 6. 大腸がんで消化・吸収機能に障害がある対象の看護	講義 演習	16			

成人看護学援助論Ⅱ No.2

	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考
授業の内容と方法	7	<p>栄養代謝機能の障害</p> <p>1) 栄養代謝機能とその役割 栄養代謝機能とは何か 栄養代謝機能と生命・生活</p> <p>2) 栄養代謝機能とその障害</p>	講義 演習	14		
		<p>栄養代謝機能の障害が生活に及ぼす影響 (栄養代謝機能の障害をもたらす生命・生活への影響)</p>				
		<p>症状アセスメントと看護 (肥満、るいそう、肝不全、動脈硬化)</p>				
		<p>検査時のアセスメントと看護 (血液検査、肝生検、内視鏡的逆行性胆管膵管造影法等)</p>				
		<p>治療時のアセスメントと看護 (肝庇護療法、インターフェロン療法、手術療法)</p>				
		<p>肝硬変で栄養代謝機能に障害がある対象の看護</p>				
		<p>胆石症で栄養代謝機能に障害がある対象の看護</p>				
終了後課題						
評価計画方法	筆記試験、授業中の態度から総合的に評価する。					
テキスト参考図書	赤石 恵子他著：健康の回復と看護②栄養代謝機能障害，メディカ出版 参考図書：金田 智他著：成人看護学⑤消化器，医学書院 参考図書：吉岡 成人他著：成人看護学⑥内分泌・代謝，医学書院					
実務歴有						
講義への反映						
備考						